

令和元年度第6回協議会（久留米市地域福祉計画推進協議会 久留米市地域福祉活動計画推進連絡協議会）議事要旨

開催要領

- 1 開催日時 令和2年1月29日（水） 10時00分～11時10分
- 2 会場 久留米市総合福祉センター（2階大会議室）
- 3 出席者 委員22名
綾部委員、江頭委員、豊福委員、有川委員、坂井（弘）委員、
本山委員、江上委員、高田委員、橋本委員、坂井（恵）委員、
古賀委員、津野委員、藤野委員、郷原委員、村井委員、藤田委員、
阪本委員、濱崎委員、窪田委員、内藤委員、石井委員、田端委員
- 4 欠席者 委員3名
城戸委員、森山委員、江藤委員
- 5 傍聴者 なし

次第及び議事要旨

1 開会

会 長：地域福祉計画と地域福祉活動計画が一体となった計画が出来上がり、行政、社協、地域住民の活動が一体的に捉えられるようになり良かったと思う。本日は、最終案が出されており、最後まで多くのご意見をいただきたい。

2 報告事項

（1）令和元年度第5回協議会議事要旨について

【主な質疑応答等】 特になし。

（2）パブリックコメント及び住民説明会の結果について

【主な質疑応答等】

委 員：障害の「害」は、ひらがな表記の方が良いと考えている。久留米市内でも漢字での表示やひらがなでの表示があり、統一した方がいいのではないかと。

事務局：表記というよりも、周りの意識、社会の方が変わらないといけないという社会モデルの考え方を尊重している。また、久留米市としては漢字の「害」で統一していると承知しているが、行政以外が使う表記についても検討が必要かと思う。

委 員：障害者を抜きに話が進むことに違和感を覚える。

委員：字を変えても、障害者は障害者といわれる。見た目を変えても何も変わらない。障害をもっている方は、そんなに気にしていない。

委員：私たちが何も気にならないような感覚になることが一番大事。

3 協議事項

(1) くるめ支え合うプラン（最終案）について

【主な質疑応答等】

委員：資料4の3ページ、関連計画の期間の比較の「支え合うプラン」は、「くるめ」を追加した方が良い。

事務局：「くるめ」を追加し、「くるめ支え合うプラン」に修正する。

委員：読みにくい字や難しい字は、ふりがなを付けた方が良い。

事務局：本計画をホームページ等に掲載する際には、ふりがなを付けたものと付けていないものの両方を公表したいと考えている。

委員：資料4の25ページ、各分野の主な相談窓口一覧の連絡先にFAX番号も入れた方が良い。

事務局：FAX番号やメールアドレスの掲載については検討したい。

委員：知的障害者の情報保障ということで、分かりやすい簡易版があれば助かる。

会長：概要版ではなく、知的障害者や外国人の方々にもわかるような簡易版を作ることは大事である。

事務局：本計画の概要版は作成するが、分かりやすい表現やイラストを多用するなどのアプローチの方法についても検討したい。

委員：資料3の25ページで、個別課題の発生と書かれているが、トゲトゲが迷惑をかけているような印象を受ける。

会長：よほどの大事が起こったときにしか言えないように見える。小さなことでも課題と捉える姿勢が大事である。

事務局：表現については検討したい。

委員：計画は、作ることも大事だが、広げていく方がもっと大事である。

せっかく良い計画ができたので、できるだけ多くの人に広げてもらいたい。また、ホームページに掲載する際も、トップページの分かりやすいところに掲載してほしい。

事務局：現在、広報部門と協議をしており、伝わるような啓発の工夫を検討していきたい。また、校区の活動計画をつくるにあたっての周知も十分に機能すると考えている。

委員：冊子の印刷、配布のスケジュールを教えてください。

事務局：3月末を目途に完成し、ホームページにはすぐに載せる予定だが、その後印刷に入るので、冊子の配布は6月を目途にと考えている。

会 長：「くるめ支え合うプラン（最終案）」について、事務局提案のものでよろしいか。

委 員：（了承）

4 その他

○今後、計画案に修正が出た場合は、事務局に一任してほしい。

○本日の協議会をもって、今年度の協議会は終了。委員の任期も3月末まで。

○来年度の委員の選任については、現在、事務局で検討中。声をかけさせてもらう場合は、協力いただきたい。

5 閉会